

見出しと文章

前回の章で作成したindex.htmlにHTMLを書いていきます。

文字を表示させるだけでもいくつか種類があるので覚えましょう！

見出しタグ

Webサイトにはそのサイトのタイトル、セクションごとの見出しを付ける場合があります。

その際用いられるHTMLのタグが<h></h>タグです。

このタグは<h1>～<h6>まで用意されており、数字によってHTMLで表示される文字の大きさが変わります。

文字の大きさは数が大きくなるほど小さくなります。

実際に書いてみましょう！下記のコードを前回作成した「index.html」の<body></body>の間に書いてみてください。（自分でタイピングするかコピペするかはお任せします）

※注意点

自分でタイピングする人はタグ名を書く時、全角になってないか注意してください。

全角で書くと上手く表示されないので気を付けてください。

```
<h1>1番目の見出し</h1>
<h2>2番目の見出し</h2>
<h3>3番目の見出し</h3>
<h4>4番目の見出し</h4>
<h5>5番目の見出し</h5>
<h6>6番目の見出し</h6>
```

HTMLファイルをブラウザで確認する方法

作成しものの、本当に正しく作成できているか確認しなければなりません。

そう言った時はブラウザで作成したHTMLファイルを開くことで確認できます。

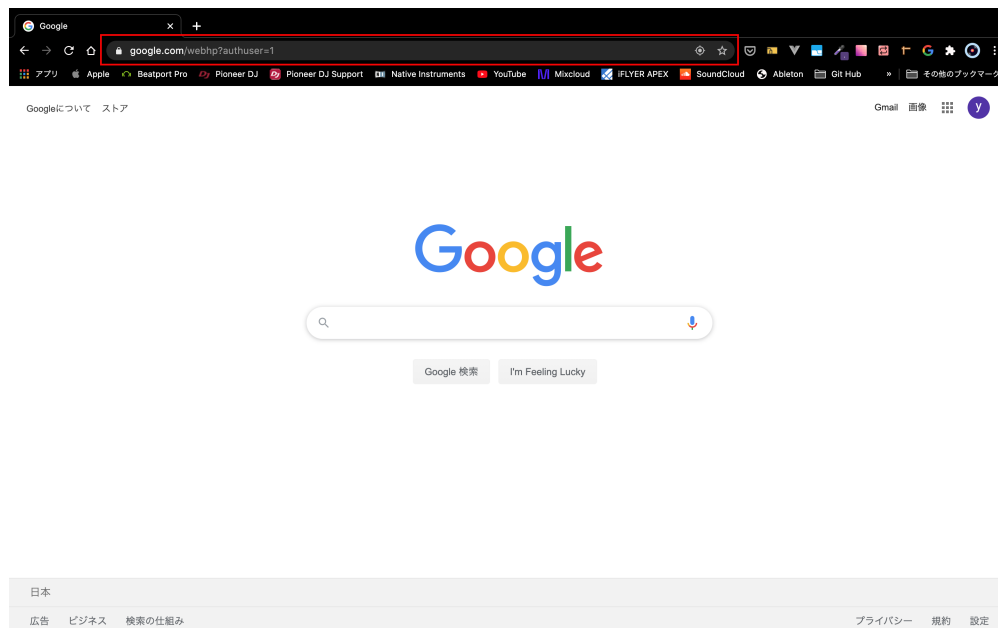
研修ではGoogle Chrome指定しているのでChromeを起動してください。

次にVsCodeで作成した「index.html」ファイルにマウスカーソルを当てて右クリックしてください。



メニューの中に「パスのコピー」という項目があるのでそれを選択してください。

Chromeに戻り、URLを入力する項目があるのでそこへ貼り付けてください。



下記のように表示されたら大丈夫です。

1 番目の見出し

2 番目の見出し

3 番目の見出し

4 番目の見出し

5 番目の見出し

6 番目の見出し

ファイルは読み込めたが上手く表示できなかった時

まずhtmlファイルを修正してください。

修正できたらブラウザの左端にある、下記のボタンを押すか、command+rを押してください。



ページの再読み込みがされ、修正した内容が反映されます。

ページの再読み込みすることをリロードと言います。

見出しタグを使う順番

見出しは大見出しとなる<h1>から使っていき、次の中見出しは<h2>、さらにその小見出しには<h3>をと言った順番で使ってください。文字の大きさが合わないなどの理由で<h2>を飛ばして<h4>を使うと言ったことは止めてください。もしそう言った時は後に学習するCSSで調整しましょう。

また、大見出しとなる<h1>は基本的には1つのWebページにつき1度だけが良いとされているので2度、3度使うのは気をつけましょう。

文章を表示される

文章を表示する時に使うタグは<p></p>タグです。

このタグを使うことのより、ここのタグに書かれていることは文章と言う意味を持たせることができます。

見出しタグの下に続けて書いていきましょう！

※今後の説明では〇〇タグ、〇〇要素と言った表現が出ますがすべて同じHTMLのタグと認識してください。

```
<p>pタグは文章を表す時に使います。</p>
```

下記のように表示されていれば成功です。

1 番目の見出し

2番目の見出し

3番目の見出し

4番目の見出し

5番目の見出し

6番目の見出し

pタグは文章を表す時に使います。

また次の段落に新たに文章を追加する時は<p>タグを作成しましょう。

```
<p>pタグは文章を表す時に使います。</p>  
<p>段落を追加する時はpタグを新しく作成する</p>
```

ここで<h>タグと見比べて何か違いに気がきました？

文字の大きさもちろんですが、文字の太さも違いますよね！

これは別な章で改めて説明しますが、ブラウザごとにあらかじめからHTMLのタグに対してCSSを適用します。

なので段落の間に間隔が空いていたり、文字の大きさ、太さが違います。

デベロッパーツールで作成したHTMLを確認する

Web制作、フロント開発をする上でデベロッパーツールを使いこなすことは必須スキルです。

これが使えないと、自分の作成したWebページが崩れていた時にどこを修正すれば良いのか分からない、CSSを書いたけどスタイルが正しく適用されているのか分からないと言ったことになるので公開されているページでも使うことができるのでしっかり慣れてください。

立ち上げ方

ブラウザ上で右クリックを押してメニューを開きます。

その中に「検証」と言う項目があるのでそれをクリックまたは、ブラウザ上で`option+command+i`を押すとデベロッパーツールを開くことができます。

下記のようになっていれば成功です。

1番目の見出し

2番目の見出し

3番目の見出し

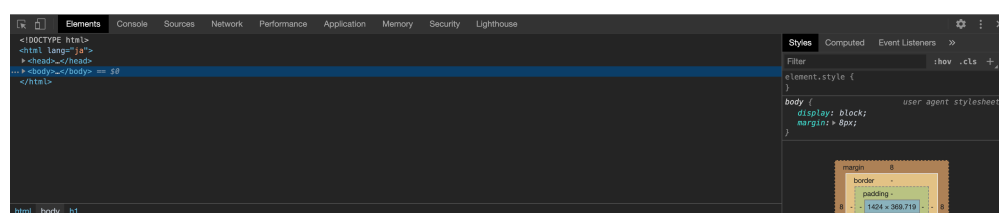
4番目の見出し

5番目の見出し

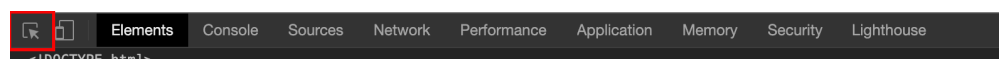
6番目の見出し

pタグは文章を表す時に使います。

段落を追加する時はpタグを新しく作成する



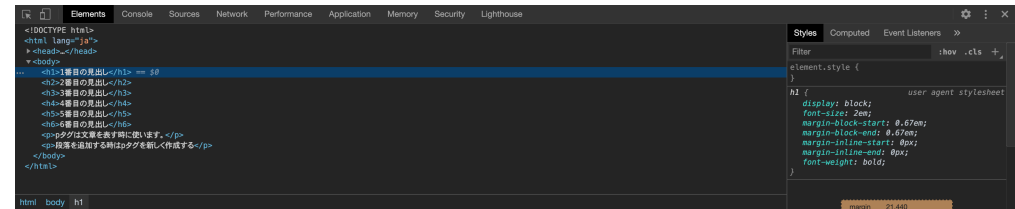
下記の画像の赤くなっている箇所をクリックしてください。



選択して表示されている文章や見出しにマウスカーソルを当てると色がつくと思います。

"1ば番目の見出し"をクリックしてみましょう。

下記のようになるとおもいます。



デベロッパーツール内に表示されているHTMLの一部が蒼くなっていると思います。それがクリックして選択したHTMLです。

ここで自分の書いたHTMLを確認できます。

そして、その右側に「Styles」と書かれた項目があります。それがCSSを表示するところとなっています。

ただし、今はCSSを何も書いていないのでブラウザーが適用しているCSSしか表示されません。（ここについてはCSSを学習する時に詳しく触れています。）

課題

新しくHTMLファイル作成し、その中の構成は下記のような構成でお願いします。

```
<!-- 大見出し -->

<!-- 中見出し -->
<!-- 文章 -->

<!-- 小見出し -->
<!-- 文章 -->

<!-- 小見出し -->
<!-- 文章 -->

<!-- 小見出し -->
<!-- 文章 -->

<!-- 中見出し -->
<!-- 文章 -->

<!-- 小見出し -->
<!-- 文章 -->
```